

報告書抄録

ふりがな	いりえないこいせき							
書名	入江内湖遺跡 I							
副書名								
巻次								
シリーズ名	一般国道8号米原バイパス建設に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号	1							
編著者名	瀬口眞司・久保田ひかる・田中咲子・中川治美・山形秀樹・パレオラボAMS年代測定グループ、国立歴史民俗博物館炭素14年代測定グループ、黒沢一男、植田弥生、吉川純子、汐見真、白崎泰子、山崎健							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課／財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	大津市京町四丁目1番1号／大津市瀬田南大萱町1732番2号							
発行年月日	平成19年（2007年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
いりえな 入江内湖	しがけんまいはらしりえ 滋賀県米原市入江	25463	044	35度 18分 45秒	136度 16分 30秒	001120 ↓ 040325	19432m ²	国道8号米原バイパス建設工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物		特記事項	
入江内湖遺跡	集落	縄文時代早期後葉～後期初頭、弥生時代前期、古墳時代後期		包含層、土坑	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、土製品、石器、骨角製品、金属製品、木製品、動・植物遺存体			
要約	<p>国道8号米原バイパス建設に伴い、旧入江内湖に南北二つの調査区を設けた結果、縄文時代前期中葉までのアシ原状の湿地や河道、縄文時代中期後葉ないし後期初頭の三角州・砂浜だと考えられる包含層を重層的に検出し、石錘や土器片錘、ヤスや釣針を用いた漁労や、木製漆塗り容器の製作・使用・廃棄、丸木舟の利用などといった諸活動の痕跡を確認した。また、縄文時代前期中葉の深鉢内部に炭化して固着した球根や、西日本の内陸部ではきわめて稀なマグロ属椎骨の出土も確認した。</p> <p>なお、漆塗り容器や丸木舟は全国的に見ても古い段階のものである。また釣針は関西地方では最も古いものである。</p> <p>また、北調査区では弥生時代の土坑のほかに、古墳時代後期までに堆積を終えた砂浜と考えられる包含層や河道を重層的に検出し、土器や金属製のヤス・刀子、根挟みや各種木製品の使用・廃棄の痕跡を確認した。</p>							